

このドキュメントについて

- ・ JANOG18 のプロデューサー PC の応募用に使われたメモ
 - ・ こんなのがやりたい！という意志表明
- ・ でも、面談の結果没になってしまいました。残念。
 - ・ JANOG18 では徹底的に議論をしたい！、このネタだと議論しにくいので、というのが没の理由。まあ納得。

概要

title

20 年後の物理層

Abstract

20 年前は、ギガビットでの通信する、ということは、研究レベルでようやくできるようになった技術にすぎない。(だと思っただけど、、、)だとすれば、今、研究レベルで行なわれていることが、20 年後には現実のものになるはずである。この発表では、将来の通信基盤として、今研究レベルで行なわれていること、具体的には、光量子暗号通信、量子テレポーテーション、などに焦点をあてる。

論点

特になし。へー、すげーや、だけでも OK。多分それだけでも楽しい。でも、それって、どう使うの？、というふうには盛り上がるはず。

発表者候補

- ・ NTT の研究所の人
- ・ 大学の研究者
- ・ ゲームの人(ユーザ代表？、進行役？)

進行

イントロ (3min)

- ・ 現状の問題点
 - ・ 帯域不足
 - ・ 認証
 - ・ 遅延
- ・ 将来の技術の紹介
 - ・ 光量子通信
 - ・ 量子暗号
 - ・ 量子テレポーテーション

光量子通信 (10min)

- ・ 技術解説
- ・ 適用範囲
- ・ 将来の使い方
- ・ 解決すべき問題点

量子暗号 (10min)

- ・技術解説
- ・適用範囲
- ・将来の使われ方
- ・解決すべき問題点

量子テレポーテーション (10min)

- ・技術解説
- ・適用範囲
- ・将来の使われ方
- ・解決すべき問題点

ディスカッション (15min)

- ・本当にできるの？
- ・本当に必要？
- ・オペレーター的に楽になるの？
- ・ユーザは嬉しいの？
- ・それって儲かるの？

ToDo

- ・発表者を探す
 - ・探せば勝ち
 - ・まだ探せていない
 - ・論文とか探して一本釣り！！
 - ・NTTとかにいないかなあ。
 - ・時間がないから急がないと、...
- ・発表者を集めて方針決め
- ・タイトル等のフィックス

参考

- ・本は結構出ている。
- ・大学の理論レベルではかなり研究は進んでいるらしい。